

がら、未来を見すえ、地域を担っていこうとする姿を願い、主題を「地域に根ざし、未来を見すえる子どもの育成」とした。

総合的な学習の時間や生活科の学習で体験的な学習を重視して、授業展開する。自ら気づき、課題を作り、追究したことを他へ発信する力を育てる。その発信する場として「里小まつり」を位置づけて保護者や地域、他の児童へ問いかけ、考えをさらに深める機会とした。

2 ねらい

- ・里町の人・もの・ことと対話し、次世代の担い手としての意識を高める。
- ・子どもたちが、地域や身近な人とかかわる中で、課題を見つけ、主体的に追究活動を行い、解決していこうとする態度を養う。

3 実践

(1) 総合的な学習・生活科

地域の教育素材（人・もの・こと）を積極的に活用しながら以下のように取り組んだ。3学期には、里小まつりで学んだことを発表した。

<1年生>「一緒に遊ぼう」

昔の遊びを体験したり、おもちゃ作りを行ったりした。そして、「里小まつり」では、近くの幼稚園児を招待して遊びを教え、一緒に遊ぶ活動を行った。自分より幼い子に親切に教える姿が見られた。

<2年生>「町探検」

通学路コース別に学区を見学した。見学の中で気づいたこと、発見したことを発表し、さらに関心をもった場所に見学に行った。里小まつりでは、見学してわかったことをすごろくやクイズ形式にして発表した。

<3年生>「里町、大好き、安城梨、大好き」

地域の特産品であり、保護者も生産に携わっている梨について追究した。年間を通して何度も見学やインタビューをして、生産者の苦労や喜び、工夫などを知ることができた。また、梨の種類や他の産地などの調べ学習を行い、安城梨の良さを再確認した。

<4年生>「水の環境探検隊」

土地の高低の調査を行い、明治用水の水の流れを実感した。また、明治用水を開削した人々の思いや、それによって地域が発展したことを理解し、暮らしを支える水について考えた。里小まつりでは、明治用水を開削した人々の苦労やその流れが地域の農業を支えていることを劇やクイズにして発表した。

<5年生>「お米ツアーへ、ようこそ」

学区の農家の協力を得て、田植えや稲刈りなどの稲作体験を行った。その体験や農家の人の話から、米の自給率や米の良さなどそれぞれが疑問や関心をもったことについて追究した。里小まつりでは、お米の良さをもっと知ってもらおうと、米にかかわる食生活や農業の問題について発表した。

<6年生>「私たちの里、そして未来」

地域の歴史や人々について学び、先人の思いにふれる中で、地域の未来について考える学習を進めた。自分たちが暮らしている里町を支えている人に直接会って、話を聞き、その思いを知った。そして、自分たちにもできることはないかと考え、公園などのごみ拾いを行い、地域へ貢献した。

このように地域から学んできた学習の成果を「里小まつり」で発表した結果、地域の方から「自分自身も知らなかったことが聞けて勉強になった。子どもたち

はよく勉強していて感心した。」と言葉をいただいた。

(2) 学校行事「都築弥厚生誕250年記念ウォークラリー」

① ねらい

- ・ 明治用水が作られる以前には、この地域には八幡池、菖蒲池、鷺蔵池が水がめとしてあったが、水についての問題が絶えなかった。しかし、都築弥厚の夢と志を受け継いだ人々によって明治用水が作られ問題が解決された。そして、現在のように豊かな田園が広がるようになった。このように都築弥厚の夢と志があって、郷土が潤っていることを改めて実感させたい。

② 方法

- ・ 明治用水に関連する4コースの中から、1つのコースを事前に通学班で選択する。
- ・ 当日はガイドやマップを見ながら、通学班ごとにコースを探訪する。希望する保護者も参加できる。

② 準備

- ・ 教員によるコース選定チームが資料を集めたり、現地を訪れたりして、原案を提示する。そして、正式決定後、教員によるマップ作成チームが作業を開始する。
- ・ 安全点検や現地での説明の仕方などの確認のために、教員が下見を繰り返す。
- ・ P T Aの協力も要請する。ポイントでの立ち番やゴール地点での飲み物の提供を依頼する。

③ 成果

- ・ 当日は、児童と保護者が一緒にコースを巡り、ポイントでそこにまつわる話を聞き、里の歴史と明治用水について学ぶことができた。「私は、4年生の時に学習した明治用水のことを思い出しました。今回歩いて、知らなかったことも分かりました。班のみんなと楽しく里町のことを学ぶことができて、よかったです。」と、6年生の子どもが記述している。過去から現在を見つめることができた。

2 おわりに

地域の教育素材を積極的に活用しながら単元を構成したり、地域を巡るウォークラリーを行ったりしたことで、地域に親しみ、関心をもつことができた。また、実際に目で見たり、地域の人から聞いたりして、実感を伴って学習内容を理解し、深めることができた。6年生では、地域に貢献している自分を自覚し、地域の行事に積極的に参加・協力していこうという気持ちをもたせることができた。今後も、地域に根ざした学習を進めることで、自分の地域を実感を伴ってとらえてほしい。そして、地域に愛着をもち、地域の未来を見すえ、地域をつくり上げる担い手になってほしいと願う。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()